

第6回 海老江下水処理場改築更新事業の環境監視に係る有識者会議 会議録

日 時 令和4年5月23日10時20分～11時30分

開催場所 建設局北部方面管理事務所 大会議室

出席者

(委員) 近藤委員(座長)、乾委員(座長代理)、藤川委員

(事務局：建設局) 大野課長、青山課長代理、中家係長、玉瀬係長、八幡
西村係長、藤沢

(事業者：海老江ウォーターリンク株式会社) 中村社長、秋山統括管理責任者

(事業者：大成建設株式会社) 佐崎、中野、篠原、新藤、木村

(事業者：メタウォーター株式会社) 芦田

議 題

2021年度 工事中の環境監視結果について(資料5)

議 事

工事中の環境監視結果について

(事業者より資料5の1.環境監視の計画(p1～7)、2.工事内容(p8～13)について説明)

近藤座長：ありがとうございました。それでは、ただいまの環境監視の計画、工事内容の説明につきまして、ご意見、ご質問があれば、よろしく願います。

藤川委員：p6の地下水の項目に、「地下水の流動等に影響する可能性がある施工段階で試験回数を増やす」と記載があります。これまでに試験回数を増やしたことはありますか？また、今後試験回数を増やす予定はありますか？

事業者：当工事における掘削工事は、土留用の鋼矢板を遮水層まで貫入しているので、地下水の流動等が生じることはありませんでした。そのため、試験回数を増やしていません。今後も同様な工事となるため試験回数を増やすことはありません。

(資料5の3.環境監視結果(常時監視)(p14~27)について説明)

近藤座長：ありがとうございました。常時監視の説明につきまして、何か質問はございますか。

近藤委員：p22、2021年5月のにおいて、粉じん濃度が上昇していますがどこの地点ですか？

事業者：粉じん濃度が上昇している地点は敷地境界東側です。阪神高速が近傍にあるのでその影響があったのかもしれませんが。

近藤委員：了解です。1次管理値以下なので問題ないと思います。

藤川委員：p25、2022年3月において、敷地境界南側で粉じん濃度が上昇しています。原因はわかりますか？

事業者：測定地点全地点において粉じん濃度が上昇しているのでこの地域全体の粉じん濃度が上昇していると思われます。南側では、コンクリート打設時に余ったコンクリートの小割作業を行っているので、その影響があったのかもしれませんが。

藤川委員：了解です。こちらも1次管理値以下なので問題ないと思います。

近藤委員：p22~25において、「近傍の浮遊粒子状物質の濃度も高まっている」と記載がありますが、今後はその濃度も記載したほうが良いと思います。

事業者：了解しました。

(資料5の4.環境監視結果(定期監視)(p28~48)について説明)

近藤座長：ありがとうございました。定期監視の説明について、何か質問はございますか。

乾委員：P43において、西側のセレンの濃度が上昇傾向にあります。西側の地下水に影響を及ぼすような工事はしましたか？

事業者：地中に挿入済みの鋼矢板を引き抜く工事をしました。これが影響しているかもしれませんが。

乾委員：了解しました。電気伝導率を整理すると地下水の変動も確認できると思うので、今後参考にしてください。なお、基準値を超過していないので問題ないと思いますが、測定値が上昇傾向にあるので注視してください。

事業者：了解しました。

藤川委員：工事に先立ちボーリング調査など実施していると思うが、地下水質に影響がありそうな人工物など見つかりませんでしたか？

事業者：人工物はボーリングデータで確認できませんでした。ただし、掘削時に杭や鉄

筋コンクリートなどの障害物が出現し、撤去しました。

乾委員：セレンの濃度は、工事をしていない事前監視時よりも、工事中の2019年8月～2021年5月の方が低くなっています。そのため、工事の影響によりセレンの濃度が低かったが、矢板を引き抜くことで工事前の状態に戻ったのではないかと思われます。セレンの測定値が上昇傾向にあるため、注視してください。

事業者：了解しました。

(資料5の5.第5回有識者会議(令和3年5月23日)(p49～50)について説明)

近藤座長：ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明についてご意見ございましたらお願いします。

藤川委員：特にございません。

乾委員：特にございません。

— 1行開けて —

近藤座長：資料5の審議については以上ですが、会議全体を通して何かコメントはございますか。

藤川委員：特にございません。

乾委員：特にございません。

以上